

### ボランティアA氏の同行レポート

住環境再生機構 (2008年10月23日 13:31)

10月21日火曜日、午前中からKさんにご案内いただき、現在の柏崎の現場の状況説明を見て廻ってきました。

一軒目は、中越沖地震で、家全体が20度傾いてしまったK邸の現状報告です。  
写真は駐車場の様子です。  
ペットボトルと比べて下さい。大きなコンクリート板が縦割れに破れています。



下は手がすっすり入ってしまう割れ目。  
扉を区切るブロックも割れや隆起が見られます。



K邸室内です。  
居間の扉が自動ドアの欄にスルスルと動いています。



建具という建具が歪んで隙間ができ、建てつけが悪くなっています。



K邸は打合せに入っばかりの様子ですので、一日も早い工事が待たれますね。

2件目は丁度作業中のAK邸です。  
Sさんがブロック崩の撤去中でした。  
隣家が迫っているため機械では無理なため、手作業となります。  
お隣の塀を養生しながら、気を使っての大変な仕事です。



地盤を掘り下げ、ジャッキアジャスターが設置されたところです。  
土台を支えるために、家屋の敷居所にこまごま穴を掘り下げます。



掘上げた土は、土嚢につめて置き、埋め戻し用に積んであります。  
緑のボードは養生板といって、作業工程中に万一でも人が落ちない様に、穴の上を覆う踏み板になるそうです。

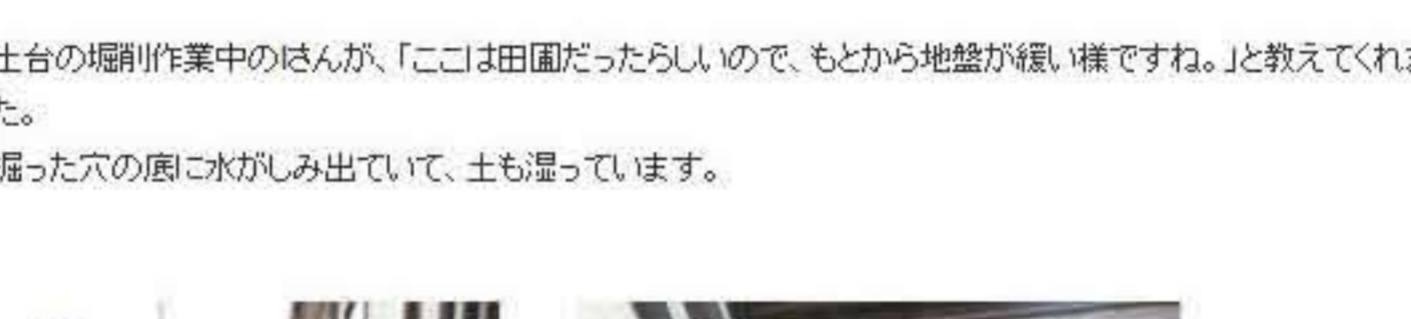


こちらも、完成時は視察してみたいです。

3件目はAN邸です。  
ここはかなり大掛かりな工事でした。  
土台の掘削作業中のさんが、「ここは田国だったらしいので、もともと地盤が硬い様ですね。」と教えてくれました。  
掘った穴の奥の水がしみ出していて、土も湿っています。



下は床下を掘っているYさんです。  
声を掛けると、真っ暗で中の様子が見えませんが、フラッシュで撮影して様子がやっと判りました。ヘッドランプをたよりに腰をかがめての作業です。  
風通しの悪い床下での仕事は、本当に大変です。



6畳2間続きの和室の床下があらわになり、カーボンファイバーの補強工事が行われていました。  
ここでもここも、掘削作業と元の基礎を修理する工程があったそうです。



カーボンファイバーは接着剤で固めますが、素手で作業されていて大丈夫かな。  
床下のあちとこで冗談も出ます。



周囲の壁や建具がしっかり養生されています。  
NPO法人 住環境のヘルメットです。



基礎は埋め戻され、養生をせよしまえば、見えなくなる部分です。  
文字通り、基礎の沈下修正は「縁の下の力持ち」でもとても地味な仕事です。  
でも、お施主さんにとっては、毎日の生活を安全を支えてくれる大切な工事なのです。  
仕上がりはきっと、作業の苦労などまったく感じさせないはずになります事でしょう。

最後の4件目はさすがに遅くなってしまいました。  
作業の終わりの後片付けに立ち会えました。  
穴は踏み板でカバーされ、掘り出した土は土嚢に入れて積まれ、シートがかかっています。



倉庫というところもあり、家屋重量もないので、掘削作業は2日で終わったとの事。  
明日からジャッキアップです。  
このコンパクトな油圧ポンプで50トンが上げられるそうです。



すっかり日も暮れてしまいました。  
早く帰りたいところを快く説明してくださったTさん達、有難うございました。



今回見せていただいたのは、ほんのさわりでしかありませんが、現場の様子が何える良い機会でした。  
仕事中に、手を止めてお話ししてくださった技術者の皆様、ご案内くださったKさん有難うございました。  
081024 AE

今回はボランティアの方か柏崎市で当法人が携わっている即日工事の現場を視察していただきました。  
プロの目からではなく、素人の目線での感想をレポートしていただきました。

今後も、定期的に工事の状況をお伝えしていきたいと思っております。  
関係者の皆さんからの写真やコメントなども是非お寄せください。 広報より

中越沖地震で復興した現場を見学ご希望の方は、1名様より受け付けます。  
ご案内希望日、希望人数など合せてご連絡ください。

